

後天的な視覚障害者の支援財団

大分市と東京・新宿に本社を置く家賃債務保証会社、ジェイリースの中島拓社長は病氣や事故などで視力を落とした中途視覚障害者の就職などを支援する財団を設立し、第1期奨学生の募集を始めた。

先天的な視覚障害者だけでなく、病氣などで後天的に視覚に障害を持った人に広げた。中途視覚障害者は強い心理的ショックを受けるケースも目立つが、音声入力パソコンを学んだり、つえの使い方などの訓練を受けたりする後押しをする。小論文などで審査し、5人程度に年間60万円給付する。中途視覚障害で通学が困難になった大学生らも対象。